

道徳科学研究所 第1回道徳教育研究会 報告

道徳科学研究所

道徳教育研究推進プロジェクト

道徳科学研究所（道科研）では、令和3（2021）年6月9日に、道徳教育研究推進プロジェクトが企画した第1回の「道徳教育研究会」を開催しました。テーマは、「学校における道徳教育への貢献に向けた財団としての教育活動の今後－教育者研究会の歴史と展望」でした。

まずプロジェクト・リーダーである江島顕一（主任研究員）が、教育者研究会の歴史を振り返り、特にその初期から中期にかけての講師やテーマの特質を明らかにしました。

その発表を踏まえ、教育者研究会を主管する学校教育センターの川原容一センター長が、教育者研究会から道徳教育研究会への名称変更を行った趣旨や今年度の研究会の動向についてコメントし、また道科研の宗中正副所長・教授が、学校の道徳教育とモラロジー道徳教育の捉え方や協働の考え方についてコメントしました。

本研究会は、道科研の所員はもとより、財団の職員や維持員の方の参加も多く、質疑応答も活発に行われました。当財団の活動として長い歴史を有する教育者研究会の原点を確認し、道徳教育研究会の今後の展望を共有した研究会となりました。